

令和4年度

「教育に関する事務の管理及び執行状況の 点検・評価」実施報告書

地方教育費行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）第26条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価については、地方自治法第233条第5項に規定する主要な施策の成果を説明する書類（決算主要事業）の作成、議会への提出及び公表を行うことをもって、法第26条第1項の義務を充足しています。

令和5年9月

浪江町教育委員会

令和4年度

主要な施策の成果

福島県 浪江町

3. 民 生 費

◆児童手当

(教育委員会事務局)

(R5 所管変更 教育総務課)

科目 3 - 2 - 2 (決算書 1 2 7 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
164,125,000	138,399,164		25,725,836

中学校修了前児童を養育している方に、家庭における生活の安定と次代を担う児童の健全な育成を図るため支給した。

○対象児童数 1,204 名

◆子ども医療費助成事業

(教育委員会事務局)

(R5 所管変更 教育総務課)

科目 3 - 2 - 3 (決算書 1 2 7 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
13,511,946	7,468,517		6,043,429

18 歳までの子どもを養育している方に、子どもの疾病又は負傷の治癒を促進し健康の保持増進を図るため助成を行った。

受給者数		県補助名	備考
・ 未就学児	368 名 2,792 件	福島県乳幼児医療費助成事業補助金	補助額 1/2 ※1 レセプトあたり 千円控除後
・ 小学 1~3 年生	191 名 944 件	—	町一般財源
・ 小学 4 年生~18 歳	685 名 2,394 件	福島県子どもの医療費助成事業補助金	補助額 10/10

◆屋内アスレチック施設運営事業（新規事業）

（教育委員会事務局）

（R5 所管変更 教育総務課）

科目 3 - 2 - 4（決算書 127 頁）

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
21,026,946	13,468,000	219,987	7,338,959

帰町後の子どもたちが安全に運動できる場所として整備した屋内アスレチック施設（ふれあいげんきパーク）を令和 4 年 6 月 18 日に開館した。

○令和 4 年度利用者数

キッズスペース	ボルダリング	合計
8,995 名	946 名	9,941 名

○主な事業費の内訳

消耗品費	1,599,424 円
光熱水費	3,897,981 円
施設運営委託料	13,398,145 円
備品購入費	636,845 円

◆屋内アスレチック施設整備事業（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

（R5 所管変更 教育総務課）

科目 3 - 2 - 4（決算書 129 頁）

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
22,649,446	11,324,000		11,325,446

平成 29 年度の浪江町健康関連施設整備検討委員会からの提言をもとに、旧ふれあいセンターなみえ周辺施設の整備に向け、屋内遊び場施設周辺外構工事を実施した。

- ・場 所 浪江町大字権現堂字矢沢町地内
- ・構 造 木造 1 階建て
- ・面 積 979 m²
- ・施設内容 ふわふわドーム、複合遊具等のプレイスペース
乳幼児向けのベビーコーナー ボルダリングスペース 等

◆子育て世帯住宅支援補助事業

(教育委員会事務局)

(R5 所管変更 教育総務課)

科目 3 - 2 - 4 (決算書 129 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
3,620,000	1,614,000		2,006,000

町内賃貸住宅に居住する子育て世帯に家賃補助を行った。自己負担家賃の 2 分の 1 の額で、上限は月 30,000 円。

※令和 4 年度より、科目 10-1-2 から所管替え。

○助成実績

・ 25 世帯 3,620,000 円

◆保育料助成事業

(教育委員会事務局)

(R5 所管変更 教育総務課)

科目 3 - 2 - 4 (決算書 129 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
8,719,670	8,447,770		271,900

原発事故の避難により、児童が他自治体の保育所等に入所した際の保育料を助成した。

○対象児童

・ 県内 64 名

・ 県外 5 名

◆出産祝い金支給事業

(教育委員会事務局)
(R5 所管変更 教育総務課)
科目 3 - 2 - 4 (決算書 129 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
3,500,000	3,400,000		100,000

次代を担う児童の健全な育成を図ることを目的に出産祝い金を支給した。

○支給件数

- ・ 第 1 子、第 2 子 26 件 5 万円/名
- ・ 第 3 子以降 11 件 20 万円/名

◆認定こども園運営事業

(教育委員会事務局)
(R5 所管変更 教育総務課)
科目 3 - 2 - 5 (決算書 129 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
105,773,808	1,169,000	7,927,190	96,677,618

令和 3 年度の増築工事により、定員が 30 名から 90 名になった浪江にじい
るこども園にて、0~5 歳児の保育を行った。

○園児数の推移

H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1
11 名	9 名	18 名	27 名	32 名

○一時預かり保育利用者数 (のべ人数)

- ・ 浪江町民 148 名
- ・ 町外の方 31 名

◆低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（その他世帯分）

（教育委員会事務局）

（R5 所管変更 教育総務課）

科目 3 - 2 - 6（決算書 133 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
10,700,000	10,700,000		

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を支給した。

- 支給額 対象児童一人につき 5 万円
- 支給件数 117 件
- 支給対象児童数 214 名

4. 衛生費

◆母子保健事業

(健康保険課・教育委員会事務局)
(R5 所管変更 健康保険課・教育総務課)
科目 4 - 1 - 4 (決算書 143 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
15,151,968	8,973,006		6,178,962

県内での乳児訪問・妊産婦訪問を行い、乳児の発達確認や母親の健康状態の把握、育児相談等を行うとともに、各種乳幼児健康診査の受診確認を行い、未受診児への受診勧奨に努めた。

令和 5 年 2 月より国の出産・子育て応援交付金による事業が開始され、出産応援給付金・子育て応援給付金支給を行った。また、養育のため指定医療機関に入院することを必要とする未熟児に対し、医療費給付を行った。

○実施状況

(単位：人)

事業名	対象者	受診者数
乳児家庭訪問	生後 1 か月～2 か月児	35
乳幼児健診	3 か月～12 か月児	91
1 歳 8 か月健診	1 歳 8 か月～1 歳 10 か月児	65
3 歳 6 か月健診	3 歳 6 か月児	58
乳幼児家庭訪問(健診事後)	生後 3 か月～就学前	20
妊婦健康相談 (母子手帳交付)	妊婦	54
妊婦健診 (前期)	妊婦	35
〃 (後期)	妊婦	29
妊産婦家庭訪問	妊婦・産婦	11
出産応援給付金	妊婦	66
子育て応援給付金	産婦	32
未熟児療育医療給付	未熟児	1
計		497

10. 教育費

◆なみえ創成小・中学校制服等支給事業

(教育委員会事務局)

(R5 所管変更 教育総務課)

科目 10 - 1 - 2 (決算書199頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
2,047,050			2,047,050

子育て世帯の町内生活の負担を緩和し、帰還・居住促進を図るため、なみえ創成小・中学校に通学する児童生徒の保護者を対象に制服等の支給を行った。

○支給実績

- ・ 小学校 38 名 547,680 円 (体操着等 38 名)
- ・ 中学校 22 名 1,499,370 円 (制服 14 名、体操着等 22 名)

◆遠距離通学費助成事業

(教育委員会事務局)

(R5 所管変更 教育総務課)

科目 10 - 1 - 2 (決算書199頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
97,788			97,788

町内への帰還・居住促進を図る観点から、町内から県内の県立高等学校に通学する生徒の保護者に通学費を助成した。

○助成実績

- ・ 高等学校 2 名 97,788 円

◆AL T派遣事業

(教育委員会事務局)
(R5 所管変更 教育総務課)

科目 10 - 1 - 5 (決算書201頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
3,740,000			3,740,000

外国語指導助手 (AL T) との学習機会を設け、児童生徒の語学力向上を図るため、民間より派遣されたAL Tの配置を行い教育環境の向上を図った。

○AL T派遣 1名 3,740,000円

※派遣期間 令和4年8月1日～令和5年3月31日

◆スクールバスの運行 (震災関連事業)

(教育委員会事務局)
(R5 所管変更 教育総務課)

科目 10 - 2 - 1 (決算書203頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
13,124,838	13,041,438		83,400

復興住宅等から学校まで、延べ870回のスクールバスの運行を行った。
(町有スクールバス運行【4台】670回、業務委託運行【1台】200回)

◆なみえ創成小・中学校魅力化事業

(教育委員会事務局)

(R5 所管変更 教育総務課)

科目 10 - 2 - 2、10 - 3 - 2 (決算書205頁、207頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
3,237,893	2,182,695		1,055,198

なみえ創成小中学校の魅力ある学校とするため、浪江の伝統文化の学習を取り組んだ。

また、勉強だけではなく、子どもたちの自主性、協調性、考える力、コミュニケーション力などを育むため、外部の講師を招聘し演劇ワークショップや哲学対話などの授業を行った。

○実施事業

- ・なみえ焼そば作り・大堀相馬焼・紅葉汁作り・かぼちゃ饅頭作り、演劇ワークショップ、哲学対話など

◆就学援助事業（震災関連事業）

(教育委員会事務局)

(R5 所管変更 教育総務課)

科目 10 - 2 - 2、10 - 3 - 2 (決算書207頁、209頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
5,909,429	5,909,429		

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により経済的に就学困難となった児童生徒及び町立学校に通学する児童生徒の保護者に対し、就学に必要な学用品・給食費にかかる経費の一部援助を行い、経済的負担の軽減を図った。なお、避難先自治体にて就学援助を実施している場合は、避難先自治体での就学援助を優先させた。

○援助の状況

(単位：人)

援助人数	小学校	中学校	計
		58	23
うち福島県内	57	22	79
うち福島県外	1	1	2

◆二十歳を祝う会の開催

(教育委員会事務局)

(R5 所管変更 生涯学習課)

科目 10 - 5 - 1 (決算書 209 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
410,645			410,645

令和 5 年 1 月 7 日 (土) に、浪江町地域スポーツセンターにおいて、新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで二十歳を祝う会を開催し、新たな門出を祝った。

○対象者数 189 名	うち出席者数	男性 15 名
(東日本大震災当時小学 2 年生)		女性 14 名
		合計 29 名

◆ふれあい交流センター運営事業 (新規・震災関連事業)

(教育委員会事務局)

(R5 所管変更 生涯学習課)

科目 10 - 5 - 1、10 - 5 - 3
(決算書 209 頁、213 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
27,271,725		1,078,865	26,192,860

町民の健康の増進と地域コミュニティの創出の場所として、施設の維持管理及び運営を行った。

○令和 4 年度 利用状況一覧 (令和 4 年 6 月 18 日オープン)

会議室等	上半期 (6 月～9 月)	下半期 (10 月～3 月)	合計
稼働日数	105 日	176 日	281 日
利用者数	1,002 人	2,277 人	3,279 人

図書館	上半期 (6月～9月)	下半期 (10月～3月)	合計
稼働日数	81日	131日	212日
利用者数	1,117人	1,962人	3,079人
貸出冊数	3,386冊	5,712冊	9,098冊

- ・ 図書資料 27,172 冊
- ・ 視聴覚資料 (DVD) 562 点
- ・ 視聴覚資料 (CD) 1,113 点

◆地域公共施設整備事業（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

（R5 所管変更 生涯学習課）

科目 10 - 5 - 1、10 - 5 - 3、10 - 6 - 2
（決算書 211 頁、213 頁、219 頁）

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
159,957,097	83,062,000	7,900,000	68,995,097

平成 29 年度の浪江町健康関連施設整備検討委員会からの提言をもとに、旧ふれあいセンターなみえ周辺施設の整備に向け、ふれあいセンター内外構工事を実施した。

○ふれあい交流センター（浪江町復興まちづくり支援施設）

- ・ 場 所 浪江町大字権現堂字矢沢町 40 番地 1
- ・ 構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建て
- ・ 面 積 1,524 m²
- ・ 施設内容 図書コーナー・展示・談話コーナー、調理室、会議室 等

○ふれあいグラウンド（なみえ運動公園）

- ・ 場 所 浪江町大字権現堂字矢沢町 16 番地 1
- ・ 面 積 17,521 m²
- ・ 施設内容 ソフトボール場 2 面、野球場 1 面、サッカー場 1 面、ランニングコース（外周）
倉庫トイレ 1 棟（80.21 m²）、夜間照明（8 基）

◆埋蔵文化財発掘調査事業（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

（R5 所管変更 生涯学習課）

科目 10 - 5 - 2（決算書 211 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
374,718,464	277,217,000		97,501,464

浪江町内の復興に向けた環境整備を行うにあたり、埋蔵文化財の本発掘調査及び調査報告書作成を実施し、埋蔵文化財の保護と開発事業の両立を図った。

○主な調査実績

- ・本発掘調査 棚塩字弥平迫地内（弥平迫遺跡・第2次） 284,273,000 円
- ・試掘調査 末森字仁田久保地内（末森地区） 15,095,464 円
- ・調査報告書作成 棚塩字弥平迫地内（弥平迫遺跡・第1次） 75,350,000 円

◆文化財保護事業

（教育委員会事務局）

（R5 所管変更 生涯学習課）

科目 10 - 5 - 2（決算書 213 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
3,058,000	2,293,500		764,500

緑の文化財である「大聖寺のアカガシ樹群」のカシノナガキクイムシからの被害を防ぐために防除事業を行った。

◆文化財収蔵事業（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

（R5 所管変更 生涯学習課）

科目 10 - 5 - 2（決算書 213 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
198,286,000	158,576,000		39,710,000

埋蔵文化財発掘事業で発掘した埋蔵文化財を保管するための収蔵施設整備を実施した。

○文化財収蔵庫

- ・場 所 浪江町大字小野田字下原 1 番地 3
- ・構 造 鉄骨造 1 階建て
- ・面 積 591.62 m²
- ・施設内容 収蔵庫（常時空調）、収蔵庫、作業室

○収蔵庫新築工事 195,800,000 円

○収蔵庫新築工事施工管理業務委託 2,420,000 円

○上水道加入金 66,000 円

◆郷土芸能復興支援事業（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

（R5 所管変更 生涯学習課）

科目 10 - 5 - 2（決算書 213 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
900,000			900,000

東日本大震災の影響により郷土芸能の継承が困難になっているため、各地区の芸能保存会に対し、用具の新調・修理や交通費等の経費の補助を行った。また活動が困難な団体については、用具類を預かり保管を実施した。

○本事業における補助採択芸能の団体 3 団体

- ・請戸芸能保存会（田植え踊り）
- ・樋渡・牛渡田植踊り保存会（田植え踊り）
- ・南津島郷土芸術保存会（田植え踊り）

◆震災遺構運営事業（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

（R5 所管変更 生涯学習課）

科目 10 - 5 - 5（決算書 215 頁）

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
20,741,077		20,741,077	

地震と津波、及び原子力災害の教訓を後世に伝えるために整備した震災遺構請戸小学校の維持管理及び運営を行った。

令和 4 年度来館者数

	一般	高校生	小中学生	その他	合計
個人	33,594 名	798 名	2,234 名	1,051 名	54,513 名
団体	8,862 名	4,034 名	3,940 名		

◆生涯学習推進事業

（教育委員会事務局）

（R5 所管変更 生涯学習課）

科目 10 - 5 - 6（決算書 215 頁）

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
5,045,314	2,904,814		2,140,500

あつまっぺ交流館（福島市）や町内施設において、専門講師によるハワイアンキルト教室及び絵手紙教室・習字サロンなどの町民向けの生涯学習出前講座を開催した。

講習名	実施回数	開催日	参加者総数
ハワイアンキルト教室	2 回	6 月 27 日、12 月 12 日	20 名
絵手紙教室	2 回	5 月 13 日、12 月 9 日	21 名
習字サロン	2 回	1 月 23 日、3 月 13 日	21 名
歌唱教室	1 回	2 月 18 日	15 名

町内では地域コーディネーターを配置し、子どもたちが学校以外の場所で自然とふれあう活動を行いながら、友達と仲良く、また心身ともに健全に成長を支援するため各教室を行った。

また、全町民を対象とした生涯学習事業として各講座を開催し、町民同士の交流や学びにつなげた。

(子ども週末チャレンジ)

日 時	活 動 名	場 所	参加者
10月8日(土) ～9日(日)	野外炊飯宿泊体験	いこいの村なみえ	8名
12月16日(土)	もちつき体験	ふれあい交流センター	19名
2月4日(土) ～5日(日)	雪遊び & スキー体験	蔵王自然の家	8名

(地域ふれあいチャレンジ)

日 時	活 動 名	場 所	参加者
6月25日(土)	雄国沼ハイキング	喜多方市	27名
7月30日(土)	男の料理教室	ふれあい交流センター	11名
8月27日(土)	第1回珈琲講座	ふれあい交流センター	19名
9月25日(日)	合同音楽祭	地域スポーツセンター	85名
11月15日(火)	鹿狼山ハイキング	新地町	12名
11月26日(土)	そば打ち体験	ふれあい交流センター	8名
12月16日(金)	クリスマス音楽祭	地域スポーツセンター	125名
2月26日(日)	第2回珈琲講座	ふれあい交流センター	16名

◆社会体育施設運営事業

(教育委員会事務局)

(R5 所管変更 生涯学習課)

科目 10 - 6 - 2 (決算書 217 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
40,076,674	732,000	1,749,468	37,595,206

町民の健康の増進と地域コミュニティの創出の場所として、施設の維持管理及び運営を行った。

○令和4年度 利用状況一覧

秋桜アリーナ	上半期 (4月～9月)	下半期 (10月～3月)	合計
稼働日数	183日	176日	359日
会議室	133件	135件	268件
サブアリーナ	91件	98件	189件
メインアリーナ	136件	176件	312件
トレーニングルーム	3,243人	3,328人	6,571人

ふれあいグラウンド	上半期 (6月～9月)	下半期 (10月～3月)	合計
稼働日数	105日	176日	281日
グラウンド	41件	65件	106件

※令和4年6月18日オープン

◆復興海浜緑地（多目的広場）整備事業（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

（R5 所管変更 生涯学習課）

科目 10 - 6 - 2（決算書219頁）

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
101,999,700	86,504,000		15,495,700

賑わいあふれる交流の場としてパークゴルフ場を整備し、避難先の町民や県内外から多くの人を呼び込み、復興祈念公園へと導く役割を担う復興海浜緑地を整備するための、土木工事に係る実施設計、水源調査及び建築設計を実施した。

◆町営高瀬野球場復旧事業（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

（R5 所管変更 生涯学習課）

科目 10 - 6 - 2（決算書219頁）

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
35,060,300	27,582,442		7,477,858

東日本大震災及び原子力災害による長期管理不能により、著しく劣化している状況にある町営高瀬野球場の機能を回復するため、建築工事、上水道敷設工事及び土木工事発注に向けた積算業務を実施した。

◆保健体育事業

(教育委員会事務局)

(R5 所管変更 生涯学習課)

科目 10 - 6 - 4 (決算書 221 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
4,150,948			4,150,948

野球、ソフトボール、駅伝といった県内の各種市町村対抗の大会へ出場する選手へのサポートを実施した。

○市町村対抗等町外大会参加状況

大会名	大会日	場所	参加者	備考
双葉郡スポーツ交流大会	7月3日	富岡町、 榎葉町	8 町村	野球 優勝 ソフトテニス 優勝 グラウンドゴルフ 4位 剣道 出場 バスケットボール 出場
県民スポーツ相双大会	9月4日	南相馬市	12 市町村	壮年ソフトボール 準優勝 ソフトテニス 準優勝
市町村対抗福島県軟式野球大会	9月10日 9月23日	県営あづま 球場他	59 市町村	対鮫川村 ○ (5-0) 対西会津町 ● (5-8)
市町村対抗福島県ソフトボール大会	10月8日	相馬光陽 ソフトボール場	55 市町村	1 回戦 対会津若松市 ● (0-7)
ふくしま駅伝	11月20日	しらかわカ タールスポ ーツパーク (白河市) から福島県 庁前(福島 市)まで	52 チーム	全体 24 位 町の部 8 位 (町の部入賞)

12. 特別会計の状況

文化及びスポーツ振興育成事業特別会計(教育委員会事務局)

(R5 所管変更 生涯学習課)

(決算書228頁)

令和4年度文化及びスポーツ振興育成事業特別会計決算額は、歳入1,479,000円、歳出1,045,000円で、前年度と比較して、歳入が5,000円の増額、歳出が5,000円(0.5%)の増額となった。歳出の主なものは、各種大会への出場が増加したこともあり、負担金補助及び交付金375,000円(前年度290,000円)で、前年度と比較して85,000円(29.3%)の増額となった。

○歳入歳出の状況

【歳入】

(単位：円、%)

区 分	令和4年度 A	令和3年度 B	増 減 A-B	増減率
文化及びスポーツ振興基金 繰 入 金	1,040,000	1,040,000	0	-
繰 越 金	434,000	434,000	0	-
財 産 収 入	5,000	0	5,000	-
歳 入 合 計	1,479,000	1,474,000	5,000	0.3

【歳出】

(単位：円、%)

区 分	令和4年度 A	令和3年度 B	増 減 A-B	増減率
交 際 費	0	0	0	-
需 用 費	0	0	0	-
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	375,000	290,000	85,000	29.3
積 立 金	670,000	750,000	△80,000	△10.7
予 備 費	0	0	0	-
歳 出 合 計	1,045,000	1,040,000	5,000	0.5

◆文化及びスポーツ振興育成事業助成金

科目 2 - 1 - 1 (決算書 230頁)

事業費 (円)	左の財源内訳(円)		
	国庫支出金	特定財源	一般財源
375,000		375,000	

浪江町文化及びスポーツ振興基金を活用し、町の文化及びスポーツ活動の振興と育成を図るため活動団体等へ助成金を交付した。

○助成内容

(単位:件、円)

区分	事業名	種別	件数	助成額
スポーツ 事業	各種大会出場事業	全国大会	8	150,000
		東北大会	4	85,000
	スポーツ大会開催事業	単一種目大会開催事業	3	90,000
文化 事業	成果発表事業	生活文化	1	50,000
		計	16	375,000